

## 大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	32
2. 大学等名	関西大学
3. テーマ	I・II複合型
4. 取組学部等名	法学部/文学部/経済学部/商学部/社会学部/政策創造学部/外国語学部/ 人間健康学部/総合情報学部/社会安全学部/システム理工学部/ 環境都市工学部/化学生命工学部
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	（399.5文字）
<p>本事業は、21世紀を生き抜く考動人&lt;Lifelong active learner&gt;を養成するプログラムである。社会から要請される能力の育成には、高次教養教育の展開とともに教養教育と専門教育の連環が必要である。</p> <p>汎用的技能や批判的思考力等の育成に必要な意思決定学習や環境適応学習の機会を保障するために、交渉学・クリティカルシンキングをテーマとした科目/ゼミ/ワークショップを開設する。これが、既に交渉学等の要素を取り込んでいるゼミと初年次教育とを有機的に接続する拠点となる。特にワークショップは卒業生が考動力を確認・再生する機会にもなる。</p> <p>この考動力を形成的に評価するコモンルーブリックを開発し、教育学習活動の成果を可視化するとともに、学修行動・到達度を間接/直接評価の両面から調査する。この結果を継続的に教育改善に反映するために、学修コンシェルジュの育成・教員コミュニティの形成を視野に入れた全学的なFD/SDを更に充実させる。</p>	